

# 市議会だより

# おおだ

No. 44

2016(平成28)年7月21日発行



## 6月定例会 6月3日~17日

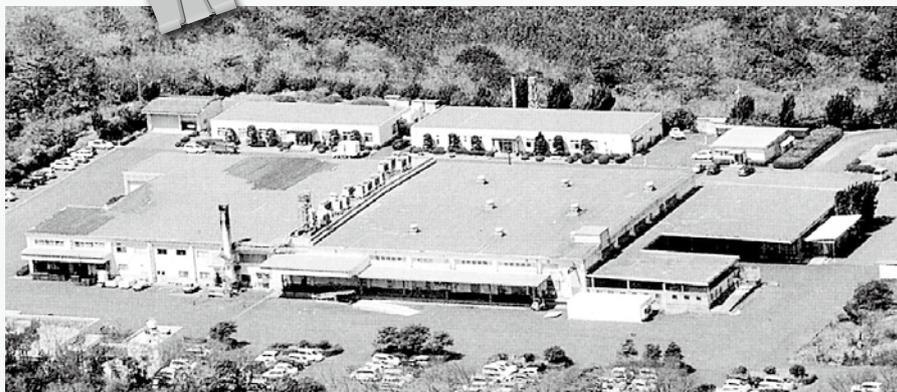
- 本会議で審議された議案…………… 2
- 特別委員長報告 …………… 4
- 一般質問に10人 …………… 6

鳥井小学校の児童によるヒラメ放流(鳥井海岸)

編集・発行 編集・発行 大田市議会 〒894-0064 鳥取県大田市大田町大田口1111 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-9927  
<http://www.city.ohda.lg.jp/> E-mail: o-gikajimur@iwamigin.jp

6月定例議会は、一般会計及び国民健康保険事業特別会計の平成28年度補正予算のほか、条例案件4件、承認案件3件について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。また、議員提出による地方財政の充実強化を求める意見書、特別委員会の設置についても原案どおり可決しました。

# (一般会計総額 230億4,828万円)



**大田市企業立地奨励金**  
(設備投資助成・雇用助成) **2,200万円**

○榊島根県食肉公社



**待機児童ゼロ化事業費補助事業**

(年度中途の入所受入を行うための人件費補助)

**保育所ICT化推進事業**

(保育所業務効率化による業務システム、ビデオカメラ購入補助)

**1,089万円**

その他の内容	補正額
健康保養都市おおだプロジェクト(ヘルスツーリズム推進のための事業)	1,965万円
“おおだ”で働こう!人財育成事業(市内で働く人材の確保、研修会等)	100万円
経営体育成支援事業(共同利用機械等取得経費補助・トラクター、コンバイン)	427万円
ふるまい体験活動推進事業(五十猛・朝波・池田小学校・第三中学校)	40万円
学校図書館活用教育研究事業(大田・五十猛・仁摩小学校)	30万円
用地取得費(波根東漁港整備時の残地の一部を隣接所有者に売却するため)	35万円

▼特別委員会の設置

【継続審査・民生委員会付託】

▼次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

▼地方財政の充実・強化を求める意見書  
【原案可決・全会一致】

**議員提出議案**

6月17日  
・地方創生交付金に係る大田市の取り組みについて  
・平成29年度大田市重点要望事業について

議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます

**全員協議会の議題**

**6月定例市議会** 平成28年6月3日(金)～6月17日(金)

**一般会計補正予算**

**可決**

**補正額 5,728万円**



世界遺産登録10周年  
石見銀山ウォーキングミュージアム

**主な補正内容**



**コミュニティ助成事業 670万円**  
(宝くじ助成)

- 宅野神楽団：神楽衣装等備品の整備
- 長久まちづくりクラブ：イベント用備品の整備
- 志学自主防災会：防災資機材



**地域密着型サービス拠点整備補助**

( 定期巡回・随時対応型訪問介護  
看護事業所開設時の準備経費補助 )

○(医)仁寿会(和かち逢う家)

**1,030万円**

**地域活性化調査検討特別委員会**

小規模な集落が、広い範囲に点在する大田市において、住みやすいまちづくり、持続可能なまちづくりの充実に向け調査検討し意見具申する

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎塩谷 裕志 | ○森山 幸太 |
| 有光 孝次  | 大西 修   |
| 林 茂樹   | 河村 賢治  |
| 小林 太   | 石田 洋治  |
| 胡摩田弘孝  |        |

**行財政改革特別委員会**

市民サービスの低下を招くことなく、効率的で効果的な行財政運営に向け、議会は議会の視点で引き続き調査検討し意見具申する

- |        |       |
|--------|-------|
| ◎松村 信之 | ○清水 勝 |
| 石橋 秀利  | 福田佳代子 |
| 月森 和弘  | 松葉 昌修 |
| 三浦 靖   | 小川 和也 |
| 森山 明弘  |       |

**▼特別委員会の設置**

※ ◎委員長 ○副委員長

**大田市立病院医療体制検討  
特別委員長 中間報告**



月森 和弘 委員長

**第9回** 委員会を4月12日に開催。執行部から新病院建設事業における、変更基本設計の概要等の説明を受け、それについて協議を行った。

内容は、概算事業費128億円、うち本体工事89億円。スケジューリングは平成28年度変更実施設計、平成29年度着工、平成31年度後半での開院を目指すとの説明後、質疑応答を行った。

主なものは、以下のとおり。

**問** 全体の財政、事業の進め方について

**答** 病院建設は、最重要課題、最優先事項という考え方で、過疎債等の確保を図りたい。市立病院の重要性を訴え、国・県と連携して財源確保に努める。

**問** 経営計画の医師数について

**答** 23名からのスタート、年度内に2名増の25名体制になる。

**問** 外科医師についてどれくらい医師確保を目指しているのか。

**答** 外科系医師10名程度は必要と思っている。手術を行うことが病院経営上必要不可欠である。全国的に外科医が不足しているが、2名ないし3名程度確保していきたい。

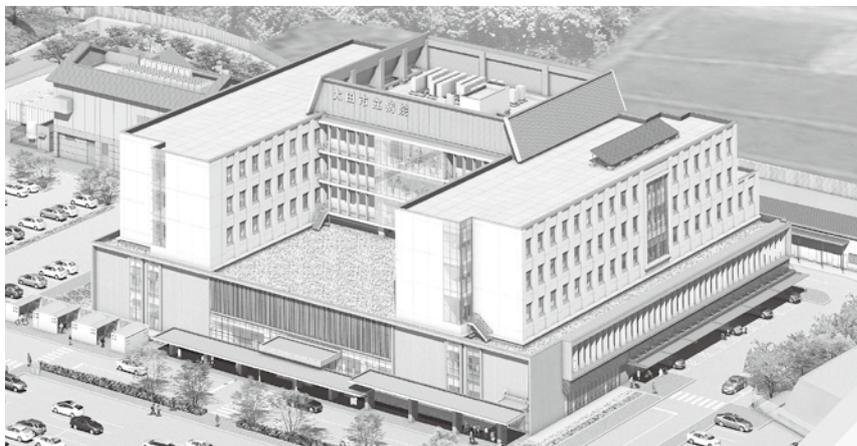
**問** VE提案(※)とか技術提案で事業費の削減効果が期待できるのか。

**答** 大手施工業者が持つ技術・ノウハウを活用し、事業費の削減を図りたい。

委員の意見として、病院建設は大事故であるが、他の事業がしくしくならないよう配慮されたい、大田市独自でできる財源確保に向け努力いただきたいという声もあった。

その他、地域の実情を反映した地域医療構想を求める意見書の提出について審議し、病院建設計画を具体的に表現し、二次医療圏、中核病院という位置付けも入れ、県、県議会に明確な意見を次期議会に提出する方向性を確認した。

(※)VE提案：品質を下げないでコストを低減する。又はコストを上げないで品質が向上する提案。



▲平成32年秋、グランドオープン予定の大田市立病院

**「石見銀山遺跡世界遺産登録  
記念日給食」に係る学校訪問  
が大田3中へ**

7月1日(金)、今年度9回目を迎える石見銀山遺跡世界遺産登録記念日給食に合わせ、議長を含む総務教育委員会の委員7名と副議長が大田3中を訪問しました。



大田3中は全校生徒数が32名の小規模な学校ですが、工夫された授業が展開されていました。生徒一人ひとりに目が行き届く授業は、個性を活かせる場であると感じました。

一方、当日の給食は、未来へ伝えよう大田の(食)宝と題され、地元食材をふんだんに使った特別献立が提供され、ランチルームで、全校生徒、教職員と一緒に味わいました。生徒によるオリジナルクイズコーナーもあり、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しいひと時を過ごしました。



# いっぱん質問



市政に対する一般質問は、6月9日、10日に行われ、10人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会を選定し、1人1議題としています。(これまでの内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

そうめん流しを楽しむ子どもたち(大田幼稚園と家庭的保育施設ステップルームの交流)

## 石見銀山の観光のあり方を 見直すべきでは

大森町民と話し合いをし、  
新しい石見銀山モデルをつくる



河村 賢治 議員

### 質問

世界遺産登録から10周年を迎えようとする中、関連する委員会審議において出された意見は、ほとんど反映されていない。  
①大森町のパークアンドライドがパークアンドウォークになった。観光客が減少した中、徒歩はつらい、自転車は危ないといった人のために、フロンタイプタクシー導入をすべきである。そうした観光全般を大森町民と話し合うべきと考える  
②観光バス予約システムにおいて、協力費は見直しをし、駐車料金としてもう少し安価にすべきと考える  
③大森町の観光モデルをつくる

### 答弁

①大森町の会合に出向き、共に考えていきたい旨の説明をし、一定のご理解をいただいた。石見銀山モデルとして取り組めるように進めていく。  
②大田市観光協会と協議を進め、運用を含めた一連の予約システムを検証し、改善を図っていく。  
③待避所の設置や、幅員確保等路線全体の整備は困難であるが、側溝蓋掛けが可能な場所もあり、今後検討していく。立ち木の枝等の除去を行い幅員全体が利用できるよう、交通安全確保に努めていく。  
④滞在型観光客の誘客エリアとして、関西、山陽、四国北部、九州に観光キャラバンを組み、セールス活動をを行い、これらのエリアに対して情報発信を強化する。



## 保育士の人材確保と処遇改善を

保育現場の声を聞き、  
出来るものから取り組んでいく



森山 幸太 議員

場の環境改善が重要であり、これらの対策を一体的に取り組む必要がある。また、大田市子ども・子育て支援事業計画における仕事と子育ての両立の推進に向け、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の効果的な啓発及び、仕事のしやすい職場環境の啓発に努める。改めて、保育現場の声を聞いた上で、出来るものから取り組んでいく。

**質問** 国の「一億総活躍プラン」において、保育士の人材確保を図るため、資格取得に向けた支援、保育補助者の雇用による勤務環境の改善や離職した保育士の再就業支援などを行っている。これに伴い、本市において、保育士の人材確保と処遇改善を直ちに図る必要があると考えるが、所見を伺う。

**答弁** 保育士の人材確保については、待機児童対策と保育環境の改善のため、処遇改善を含めてその必要性は十分認識している。保育士を確保するためには、現在、保育士として勤務している方の就業継続、現



自分たちで育てたさつまいもを試食する園児たち（波根保育園）

## 健康まちづくり推進プランを問う

実現のために必要な戦略や手法を  
検討しながら、全庁・全市を挙げて取り組む。



松村 信之 議員

現との2つの側面がある。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、健康を幅広い視点から捉えており、変わるものではない。

①「健康都市スマート・ウェルネス・シティ」とは、「健康でいきいきと暮らせるまち」をイメージしている。

②これまでの諸計画は実行のための計画と位置づけ、健康推進プランはそれらの指針とする。諸計画を一つに集約する形ではなく、目指す姿や実現のために、必要な戦略や手法を検討しながら全庁・全市を挙げて取り組む。

**質問** 健康まちづくり推進プランと、これまで展開されてきている健康施策との整合性、また、昨年策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との相違性を伺う。

①市の目指す健康都市スマート・ウェルネス・シティとは何か。

②この際「健康増進計画」と「食育推進計画」「スポーツ推進計画」を一体化してはどうか伺う。

**答弁** 健康まちづくりには、主として市民を対象とした「健康都市スマート・ウェルネス・シティ」の実現を目指すものと、主として来訪者を対象とした「健康保養都市」の実



6月14日に開催されたヘルスツアーガイド研修（琴ヶ浜）

# 温泉津・仁摩支所の現状と今後は

## 市民生活に支障をきたさないよう 方向性を示していく



林 茂樹 議員

②市民生活に支障をきたさないよう、行政組織のあり方について、関係部長による検討を進めており、年内を目途に方向性を示したい。

③総合計画や過疎地域自立促進計画、また、予算・決算の状況等を主な協議事項として、ご質問やご意見をいただいた。支所関連では、支所の空きスペースの活用策や支所の存廃・業務縮小についてのご意見をいただいた。

④地域課題解決のための、相談や情報提供などのサポートのほか、人材育成のための研修などを行い、地域のまちづくり活動の支援をしてきた。市と、まちづくりセンターと連携し、引き続き、まちづくり活動の支援を行っていく。

### 質問

温泉津・仁摩支所のあり方について、合併10年を振り返る時、次の4点を問う。

- ①両支所の住民サービスは本当に維持できているか。
- ②支所の統廃合の是非と方向性について。
- ③まちづくり審議会で現状をどう説明したのか。
- ④少子高齢化の中でまちづくりセンターをどう維持していくのか。

### 答弁

①住民サービスの維持に努めてきた。効率的な行政運営の中、職員数は削減したが、限られた職員数で、現場に出向き住民の声を聞く努力を続けていく。



温泉津支所市民生活課窓口の風景

# 地震・風水害などの自然災害に おける、防災・安全策を問う

## 被災者再建支援制度を充実させていく



清水 勝 議員

指定緊急避難所の耐久化率は85%、指定避難所の耐久化率は92%である。上水道の耐震化率は29%。公共施設の耐震化は優先性も考えて計画的に取り組む。

③三瓶川等の県河川は、5月中に点検調査している。定期的な報告を受けるようにしたい。

④女性など災害弱者に配慮した避難所運営マニュアルを策定中である。仮設住宅の候補地は、大田運動公園と温泉津総合運動場で300戸分が確保できる。

⑤被災者生活再建支援は、著しい被害を受けた世帯に対し、支援金を出すものである。国の補助事業と、小規模被害には市の単独事業があり、同一額を支給しており、国の改正に併せて充実する。

### 質問

熊本、東日本、阪神淡路の大震災、広島土砂災害等、甚大な被害が生じている。これらを教訓にした防災・安全策を伺う。

- ①三瓶(大森・三ツ子山断層の实在と断層ラインを明らかにし、周知を図る。
- ②公共施設の耐震強化策。
- ③河川堤防の強靱化。
- ④災害避難所の設置と運営方。
- ⑤被災者の生活再建。

### 答弁

①詳細な調査や評価が行われてなく、実際の判別ができていない。さらなる周知を含め住宅の耐震化等を促す。

②市庁舎の耐震強化は急がれる。また、



# 食品ロス削減と フードバンク事業の支援の取組みは

## 食品ロス削減に向け、生産者への感謝の 気持ちを育む食育指導を行っている



石田 洋治 議員

命の大切さ、地産地消の教育も含め、生産者への感謝の気持ちを育む食育指導などを行っている。また、食べ残しが増えないようにする工夫と実践について学習している。

「フードバンク」事業の現状については、大田市社会福祉協議会が平成27年度から事業を開始しており、米、缶詰、インスタント食品、レトルト食品など、賞味期限がおよそ1か月前の食品を市内の企業や個人から寄付を受け、食事に困っている生活困窮者などへ緊急避難的に支給している。

大田市では、始まったばかりの事業であり、実施にあたっての課題やその対応について社会福祉協議会と協議しながら、支援策を検討してまいりたい。

**質問** まだ十分食べられる食品が捨てられてしまう「食品ロス」は、主に家庭やスーパー、ホテルなどで発生する。日本では年間642万トンが処分されており、ごみ削減、食育・環境教育の観点から啓発していく必要がある。

また、生活困窮者に対して、食品を無償提供する「フードバンク」事業も全国で広まりつつあり、その支援も必要と考える。

本市の取り組みについて伺う。

**答弁** 大田市の教育施設における食品ロス削減に向けての取組みについては、給食センターでは、栄養教諭による食べ物の

**ひとり一品運動**  
ご家庭に眠っている食品を  
ご寄附ください！

ひとり一品運動ってなに？  
ひとり一品運動とは、ご家庭で眠っている食品をご寄附いただき、生活に困窮している方、福祉施設や団体に無償で提供するボランティア活動です。

食品受付窓口：大田市社会福祉協議会  
・本所（大田市民センター内）  
・温泉津支所（温泉津まちづくりセンター内）  
・仁摩支所（仁万まちづくりセンター内）

～ご寄附いただきたい食品～  
※賞味期限が切れていないもの  
※賞味期限が切れても賞味期限より1週間以内のもの  
※賞味期限が切れても賞味期限より1週間以内のもの  
※賞味期限が切れても賞味期限より1週間以内のもの

大田市社会福祉協議会  
島根県大田市大朝町大朝イ128  
電話：0854-22-0081  
FAX：0852-405-3950  
仁摩支所：0854-289-4421

# 原発の再稼働は考えられない

## 周辺地域の意見を十分尊重することが 必要であると認識している



大西 修 議員

310人の方がバスで避難され、通信連絡訓練、災害対策本部設置訓練、避難経由所・避難所設置運営訓練などの避難訓練を実施した。

稼働に係る判断にあたっては、周辺地域の意見を十分に尊重することが必要であると認識している。避難計画の実効性をより高めていくためにも、国による支援体制強化の働きかけなど積極的に進めていく必要がある。なお、原子力安全・防災対策の充実など、国の責任と財政負担に万全の措置が講じられるよう市長会を通じ、国に強く要望していく。

**質問** 福島原発から学ぶべきことは、エネルギー問題である以上に「いのちの問題」であり、人命と環境に取り返しのつかない被害をもたらすことである。

新規制基準には避難計画の規定はない。つまり、この実効性は中国電力も国も責任を負おうとしていない。避難計画の実効性が保証されない中で再稼働は考えられないが市長の所見を伺う。

**答弁** 平成24年11月、県において、大田市に松江市の鹿島、生馬、古江地区約1万6千人を受け入れる広域避難計画が策定された。

大田市では、平成25年1月26日に

▼平成24年度に実施された島根県原子力防災訓練



# 大田市における小さな拠点づくり (持続可能な集落づくり)の今後は

## 各地域の主體的な取り組みを支援していく



胡摩田 弘孝 議員

「協働のまちづくり推進事業」などを  
通し、各地域での自主的な取り組みを  
支援してきた。

持続可能な集落づくりは、地域の  
方々に主體的に参画して頂き、住民主  
体の議論の中で取り組みを具体化し  
ていくことが重要であり、地域での取  
組みの企画・立案から実施に至る  
まで、それぞれの段階に応じた、国・  
県とも連携した確かな支援をしていき  
たいと考えている。拠点は各まちづく  
りセンターを想定している。

担い手不足の解消策としてリーダー  
育成研修会の開催や、リターン者など  
の定住対策、地域おこし協力隊など、外  
部からの人材確保にも努めていく。

**質問** 県は、中山間地域活性化  
の柱として「小さな拠点づ  
くり」事業を進めようとしている。  
当市においても、「大田市まち・ひ  
と・しごと創生総合戦略」の基本  
目標の中で、「持続可能な集落づく  
り」を掲げているが、県との連携や、  
今後の事業の方向性、予算、活動の  
拠点、地域リーダーの育成につい  
て伺う。

**答弁** 当市では、県の「小さな拠  
点づくり」の基本目標「生活  
機能・生活交通の確保・地域産業の  
振興」の他に、市独自に「移住・定住の  
促進」を加え「持続可能な集落づく  
り」の取り組みを考えている。これまで

▼中央まちづくり委員会事業  
(代官芋苗植えつけの様子)



# 仁摩道の駅(仮称)整備計画における 地元高校との連携は有効ではないか

## 非常に重要であり、高校の魅力化 という点からも前向きに進めていく



三浦 靖 議員

形成に向かう一助となり、この地域の  
産業人材・担い手の育成につながる  
ものと認識している。また、地元の高  
校生が深く関与することで道の駅自  
体のセールスポイントになり、地域住  
民に愛され、親しみの持てる施設にな  
るものと考えている。

議員の提案は、実現に向けて非常に  
高いハードルはあるが、現在、高校の  
魅力化に取り組んでいるので、高校側  
と十分な協議を行いながら前向きに  
進めていきたい。

**質問** 計画にある地域連携機  
能の「地元高校との連携」  
について、近隣に立地する県立邇  
摩高校の生徒が、道の駅の運営な  
ど様々な分野で中心的役割を果た  
し活躍することが、今後この地域  
の産業人材・職業人材の育成に大  
きく寄与するものと考えている。

**答弁** 邇摩高校との連携は非常  
に重要と考える。生徒が道の  
駅を実践の場として活動していくこ  
とが、生徒一人一人の将来のキャリア



▲邇摩高校で開催されたスプリングフェア

無償貸し付けの土地の  
有償化は許されない！

市民負担の公平性の観点から有償化し、  
減免割合の統一基準を設ける



福田 佳代子 議員

ている全ての土地についても調査した。議会より無償貸し付けの見直しを検討すべきという指摘や、福祉団体の中にも新たに自ら土地を取得して同様のサービスを提供する事業者との負担の公平性を求める声もあった。原則として有償化の方向性を打ち出し、2月の行財政改革特別委員会で説明をした。

**質問** 2月25日、行財政改革特別委員会に提出された資料では、無償貸し付けの土地を減免や軽減措置を設けた上で、原則有償化し、事業者負担の平準化と自主財源の確保を図るとしている。対象となる施設は、老人福祉施設5件、障がい者施設4件、保育園4件である。国の介護報酬引き下げなど社会保障費の削減が続く中、国の悪政に対し福祉を守るのが市の役割である。有償化は市民の理解が得られない。

**答弁** 公共施設の適正配置を進める中で、市民負担の公平性の観点から昨年度、大田市が貸し付け

その概要は減免割合の統一基準を新たに設け、社会福祉施設に關しても放課後児童クラブは100%減免、老人福祉施設、障がい者施設、保育園に關しては70%減免とし、急激な負担増を考慮し、激変緩和措置を含む5年間の軽減措置を設ける中で有償化する。



▶有償化予定の老人福祉施設(じらたかやま)

近畿大田市人会総会開催される



Bay Tower 内藤芳秀議長 祝辞

平成28年度近畿大田市人会総会及び交流会が、6月18日(土)ホテル大阪ベイタワー(大阪市)で開催され、約220名の大田市出身者が集まりました。

大田市からは、竹腰市長、内藤議長、木村副議長、大田商工会議所会頭・副会頭、大田市観光協会理事、市職員らが参加しました。



▲オペラユニット「レジェンド」による曲披露の様子(一番左が柿迫さん)

総会では、平成27年度事業報告・会計報告、平成28年度事業計画(案)の承認がありました。交流会では、大田市出身の柿迫さんがメンバーの一人である、5人組のオペラユニット「レジェンド」による曲披露や、大屋神楽社中による石見神楽が上演されました。皆さん故郷を懐かしく思い出しながら鑑賞されていました。

また、ふるさとの特産品などが当たる恒例のお楽しみ抽選会も行われ、会場は賑わいに包まれました。



# 視察受け入れ

視察日	議会名	人数	視察項目
5月10日	鹿児島県伊佐市	10名	定住促進の取り組み
5月23日	鳥取県米子市	11名	議会報告会の運営等

## 新総務教育委員会紹介

5月号に続き、新体制となった委員会の紹介です。今回より3回にわたり、各常任委員会(総務教育・民生・産業建設)を紹介していきます!まずは、総務教育委員会です。政策企画部、総務部、消防部、教育委員会等を担当しています。委員それぞれ、新たな気持ちでスタートしました。「そ・う・む・きょう・い・く」を頭に意気込みを語ります!

### 三浦 靖 委員長

**そ** マ銀のように世界をめぐり、三瓶山のように大地に根ざす地域の人材を育て、世界と大田の未来を切り拓くための教育を目指します。

### 松村 信之 副委員長

**う** しる姿なら許されるでしょうが、いつも本会議の中継では、質問者の後方で目立っています。委員会でも目立って頑張ります!

### 有光 孝次 委員

**<** まもと地震等を教訓に、いつでも、どこでも起きる身近な災害を想定して、対応策や課題解決策等について、積極的に取り組んでいます。

### 石橋 秀利 委員

**む** 私無偏で委員会に取り組んでおりますが、引き続き再任されたので、特に消防・教育に積極的に取り組んでいます。

### 河村 賢治 委員

**い** つも元気で、いちばん西から通っている、温泉大好き3世帯9人家族です。元気な大田市を目指し発言していきます。

### 胡摩田 弘孝 委員

**う** っと声に出すにはお腹に力が入ります。気合が入る言葉です。“受け取る”“動く”“打ち込む”“打ち出す”を心がけます。

### 内藤 芳秀 委員

**きよ** ういくは一日にして成らず。育むことを大切に、子どもたちの心や身体が健やかに成長することを願って活動していきます。



## 議会傍聴のご案内

次の定例会は  
**9月5日～29日**の予定です。  
市議会を身近に感じる良い機会です。  
お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

(塩谷 裕志)

## 編集後記

慣例による役員改選で、二年間、広報広聴委員に就任いたしました。委員一丸となり、「情報の提供と共有化」を図るためにも、情報発信の中心となつて、議会の真意が伝わる広報誌となりまふように、また、市民の皆様方に、手にとつてご覧いただけるように、読みよく・見やすい紙面づくりに取り組んでまいりたいと思ひます。あわせて、今年度も議会報告会を開催いたしました。皆様方には、議会広報誌、あるいは、議会活動等々、いろいろなお意見をお聞かせいただき、ありがとうございました。